

特集 デジタルで 楽しませるリケジョブ

先輩リケジョ インタビュー

教えて! どうして、 この“お仕事”を 選んだの?

Acroquest Technology 株式会社

坂本晴香さん 仕事内容 エンジニアリングクリエイター

所属 ソフトウェア プラットフォーム ディヴィジョン
出身校 筑波大学附属高等学校 ▶ 千葉大学理学部物理学科 ▶
東京工業大学大学院総合理工学研究科創造エネルギー専攻



ア クロクエストは、電力や新幹線などのネットワークインフラを支えるシステムを開発するITベンチャーです。例えば、電力ネットワークのどこがきちんとながっていて、どこが途切れているか、というのを監視するシステムを手掛けています。私たちのシステムがあれば、「この部分の電線が切れているので、ここに迂回させて、その間にここを修理しよう」という判断が迅速にできます。実際、先の東日本大震災の際には、電力の復旧はガスや水道よりもずっと早く、ほぼ1週間で90%以上を達成することができました。

その一方で、最近話題の最先端のオープンソフトウェアの研究も行っており、私は両方のプロジェクトに関わっています。まだ入社2年目ですので、要件定義や基本設計はしていませんが、プログラミングはやりやすく、システムがちゃんと動くかという試験も担当しています。さらに言うと、うちはベンチャーですから、お客様にお茶も入れますし、広報や採用のお手伝いも、何でもしますよ(笑)。

大学時代は放射線医療を研究し、博士課程に進むか、企業で働こうかと迷っていたときに、「私がやりたいのは理系の論理的思考力を活かすこと。仮説を立てて検証して結果を出すことは、企業で働いてもできる」と思い、就職活動を始めました。最初は大学の研究に関わる医療系の企業や研究所か、当時興味があったIT企業のどちらかを考えていました。IT企業はパソコン一台で何でもでき、プロジェクトの最初から最後まで関わることができます。私はやるからには自分で何でもやりたいという性質なので、IT業界なら会社づくりに関われるベンチャーに行きたいと思っていました。それで探していたら、大学での会社説明会でアクロクエストに出会いました。

ほとんど一目ぼれでした。うちの会社は社風が独特です。

社員の給料は全員参加のミーティングで決めます。始業時間を何時にするのか、会社を全面禁煙にしようとか、社内のルールもすべて自分たちで決めます。社長でも先輩でも誰とも気軽に話せますし、自分の意見が自由に言えます。そういう話を聞いて、「ああ、楽しそうだな。ここしかない!」と思いました。

実際に楽しいですが、IT業界は流れが速いため、新しい技術がどんどん出てきますので勉強は大変です。特にうちは最先端の研究をやっていますので、英語の論文を読んだり、本を買ったりして、常に勉強しなければなりません。でも頑張った分だけ、どんどん新しい仕事を任せてくれますので、毎日ワクワクしながら仕事ができています。

将来は、女性エンジニアのロールモデルになりたい……と思っています。リケジョとしてずっと働きたいし、結婚もしたいし、子どももほしい。会社ではマネージャーになって大きなプロジェクトを回し、ちゃんと(男性の)部下もいて、バリバリ仕事をこなす一方で、家では肝っ玉母さんをやっている(笑)。「あの上司は人間的にも魅力的だな」と言われるような女性管理職になることが目標です。



坂本晴香さんへの質問大募集!

続きはWebへ! <http://www.rikejo.jp/rikejob>

大学で物理を研究し、ITベンチャーに入社した坂本晴香さん。「せっかく企業で働くなら、どの部署は何をしていて、会社がいまどこに向かっているのかを把握しながら仕事をしたい。だから全社員の顔がわかる会社を希望していました」と語る坂本さん。ベンチャーでやりがいを見つけた坂本さんに質問のある方は、上記のアドレスまでアクセスを! 未公開のインタビューも掲載中です。